

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年5月31日(2007.5.31)

【公開番号】特開2005-295818(P2005-295818A)

【公開日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2005-042

【出願番号】特願2004-112792(P2004-112792)

【国際特許分類】

C 12 M 1/00 (2006.01)

C 12 M 1/34 (2006.01)

【F I】

C 12 M 1/00 C

C 12 M 1/34 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月6日(2007.4.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

細胞を培養する培養器と、前記培養器内の細胞を撮像する撮像装置と、前記撮像して得られた画像を表示する表示手段と、を備えた細胞培養装置において、

前記培養器内の前記細胞が前記撮像装置の視野範囲に入るよう、前記培養器又は前記撮像装置を相対的に移動させる駆動手段を備え、

前記撮像装置は、前記表示画像に基づいて、前記細胞の培養状態に関する特徴量を抽出する手段を備えることを特徴とする細胞培養装置。

【請求項2】

前記培養器の表面と前記視野範囲との関係から前記相対的移動の経路を計画するとともに、前記経路上の撮像位置を事前に決定する手段を備えることを特徴とする請求項1に記載の細胞培養装置。

【請求項3】

前記細胞を照射する光源を備えることを特徴とする請求項1または2に記載の細胞培養装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、本発明では以下のような手段を提供する。

すなわち、本発明第一の特徴によれば、細胞を培養する培養器と、前記培養器内の細胞を撮像する撮像装置と、前記撮像して得られた画像を表示する表示手段と、を備えた細胞培養装置において、前記培養器内の前記細胞が前記撮像装置の視野範囲に入るよう、前記培養器又は撮像装置を相対的に移動させる駆動手段を備え、前記撮像装置は、前記表示画像に基づいて、前記細胞の培養状態に関する特徴量を抽出する手段を備える。